

事務事業評価表

○基礎情報

課名		広域事業政策課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	61	国・県・他の自治体と連携し施策の効果を上げる	寺島 哲	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				3 人	6 人	0 人	0 人	0 人	710 時間	9.9 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
広域連携に向けて取り組んだ事業の件数	28件	44件	28件	32件	36件	40件
国や県が事業主体の道路の整備延長	さがみ縦貫道路34km 藤沢大磯線4.2km	34.0km 4.2km	34.0km 4.2km	34.0km 4.2km	34.0km 4.2km	34.0km 4.2km
相模川左岸の整備延長	相模川左岸整備延長1.75km	2.2km	1.75km	1.75km	1.88km	1.88km

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果 何を・誰を どうやって働きか どうしたいか(生ま (対象) け(手段・方法) れる成果・効果)	Plan / Do									総合評価 (Check)			Action	
			事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止	
1	さがみ縦貫道路・藤 沢大磯線整備に伴う 関連事業	さがみ縦貫道路や藤沢大磯線の整備に伴う 地域からの要望の実現に向け関係機関や 関係各課と協議を行うとともに地域との調整 を行う。	政策	0.80	一般	1,809,000 ----- 1,809,000	1,821,000 ----- 1,821,000	(仮称)河童徳利ひろば 整備の進捗	実施設計	協働推進事業の実施。 ひろばの詳細設計・測 量業務に向けた地元や 関係機関との協議の実 施。	A	増加	●			
2	高速道路料金適正 化の促進	新湘南バイパス料金を引下げ等により、通 過交通車両を市内の一般道路から、新湘南 バイパスへ誘導することにより渋滞緩和を図 る。	政策	0.03	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	要望回数	10回	0回	C	減少	●		●	
3	小出川の改修整備 促進	台風や集中豪雨時の雨水放流先である小 出川について、自然環境に配慮した整備や 河床掘削、草刈等を関係機関へ要望する。	政策	0.35	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	要望回数	10回	10回	S	変動 なし				
4	新湘南国道(Ⅱ期) の整備促進	国道134号及び国道1号の慢性的な交通渋 滞の解消を図り、良好な交通環境を得るた めに、残る新湘南国道Ⅱ期事業の早期整備 の実現を図る。	政策	0.08	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	要望回数	10回	10回	B	変動 なし				
5	中海岸寒川線の整 備促進	さがみ縦貫道路及び藤沢大磯線の供用に 伴い、西久保、香川付近の交通渋滞も懸念 され、また、県央への路線が不足しているこ とから早期整備を要望する。	政策	0.03	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	要望回数	10回	0回	C	減少	●	●		

6	北部地域道路整備事業	県立茅ヶ崎里山公園の外周道路や北部地域地元要望道路について、生活環境や利便性の向上のため関係機関や地元自治会と調整し、早期整備を図る。	政策	0.12	一般	136,000 135,850	26,110,000 1,647,950	市道8570号線道路延長	763m	766m	B	変動なし			
7	中核市移行推進事業	施行時特例市から中核市への移行を目指す。	政策	1.86	一般	0 0	0 0	中核市への移行準備状況	(仮称)中核市移行基本計画の策定	課題整理と基礎資料の時点修正等を実施	C	変動なし			
8	県道404号(遠藤茅ヶ崎)の歩道整備促進	歩行者が安全に利用できるように歩道及び交通安全施設の早期整備実現を図る。	定例定型	0.15	一般	0 0	0 0	関係機関との協議、調整、要望回数	15回	19回	S	変動なし			
9	厚木基地騒音対策事業	厚木基地航空機訓練に伴う騒音対策のための要請活動等を行う。	定例定型	0.28	一般	93,000 80,000	80,000 80,000	航空機騒音に対する要請活動	6回	7回	S	変動なし			
10	広域連携推進事業	湘南地域県政総合センターが開催する湘南地域首長懇談会等に参加し、県知事への要望等を行うとともに、地域の活性化を図るため地域活性化センターの各種助成事業等を活用する。	定例定型	0.90	一般	140,000 140,000	140,000 140,000	協議会等での意見交換の回数	2回	2回	S	変動なし			
11	広域連携推進事業(寒川町)	寒川町との効率的な行政運営を推進するため、課題の整理を行い、広域連携事業を実施に向け検討する。	定例定型	0.62	一般	0 0	0 0	計画に基づく連携事業実施数	17事業	16事業	S	変動なし			
12	広域連携推進事業(湘南広域都市行政協議会)	藤沢市及び寒川町との連携・協調を図るため、各種情報交換を行い、広域連携の可能性を検討する。	定例定型	1.29	一般	101,000 101,000	100,000 100,000	広域連携に向けて取り組んだ新規事業の累計件数	40件	40件	S	変動なし			
13	広域連携推進事業(平塚市)	平塚市との連携・協調を図るため、各種情報交換を行い、広域連携の可能性を検討する。	定例定型	0.19	一般	0 0	0 0	広域連携に向けて取り組んだ件数	7件	7件	S	変動なし			
14	小出川及び国道の道路美化活動の促進	国や県と協力して、地域住民、企業等の美化活動をサポートし、道路・河川の美化を図る。	定例定型	0.06	一般	0 0	0 0	美化活動の実施回数	28回	12回	A	変動なし			
15	北部地区活性化事業	多くの人々に北部地区(芹沢)へ来ていただき、北部地区の良さを知っていただくため、北部のまちおこし・活性化を図る。	定例定型	0.08	一般	131,000 108,832	72,000 57,357	事業実施及び関係機関との会議等回数	10回	5回	A	変動なし			
16	関東国道協会事務	茅ヶ崎市の経済発展や交通環境向上のため協議会構成市町と連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。	定例定型	0.03	一般	36,000 36,000	36,000 36,000	要望回数	5回	5回	B	変動なし			
17	国・県の施策・制度・予算に関する要望	本市の施策の推進と当面の課題解決を図るため、国・県の施策や予算等に関する要望を行う。	定例定型	0.66	一般	388,000 290,120	167,000 164,276	要望等実施回数	7回	13回	S	変動なし			
18	国道1号電線地中化整備の促進	国道1号の電柱や電線の地中化により、歩道幅や段差、見通し等が改善され、歩行者の安全が確保されるよう早期整備を要望する。	定例定型	0.08	一般	0 0	0 0	要望回数	10回	6回	C	変動なし			
19	首都圏中央連絡道路建設促進期同盟会事務	ミッシングリンクを防ぐなど交通環境等の向上のため協議会構成市町と連携を図り、関係機関へ早期整備を要望する。	定例定型	0.03	一般	30,000 30,000	30,000 18,000	要望回数	5回	5回	B	変動なし			

20	新湘南国道並びに 藤沢大磯線(湘南新 道)新設改良促進協 議会	茅ヶ崎市の経済発展や交通環境向上のた め協議会構成市町と連携を図り、関係機関 へ早期整備を要望する。	定例 定型	0.08	一般	100,000 ----- 100,000	100,000 ----- 100,000	要望回数	5回	5回	B	変動 なし			
21	千ノ川の流路整備、 浚渫事業	千ノ川の堤防整備は完了したが、流域住民 の安心安全のため、河床掘削や草刈等を県 へ要望し、流路確保を図る。	定例 定型	0.08	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	整備延長	90m	90m	S	変動 なし			
22	相模川の整備促進	右岸側に比べ左岸側の築堤整備が遅れて いることから、近隣市町との連携を図り、関 係機関へ早期整備を要望する。	定例 定型	0.29	一般	120,000 ----- 120,000	110,000 ----- 110,000	要望回数	20回	15回	A	変動 なし			
23	権限移譲促進事業	権限の移譲により、茅ヶ崎市の自治体として の自主性を高め、より効率的な事務執行を 行うことができるようにする。	定例 定型	0.37	一般	0 ----- 0	0 ----- 0	権限移譲(規制緩和を含 む)の検討件数(保健所及 び中核市関連を除く)	3件	10件	S	変動 なし			
24	災害応急対策活動	-		0.10	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
25	庁内共通事務	-		0.43	一般	0 ----- 0	0 ----- 0								
合計				9.00		H29総予算(円) ----- H29総決算(円)	28,766,000 ----- 4,274,583								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>広域事業政策課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除き23事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは、「S」の10事業であり、以下「B」5事業、「C」4事業、「A」4事業となっている。</p> <p>指標の達成状況に着目すると、80%以上達成できた事業(「S」+「B」)が15事業、達成できなかったもの(「A」+「C」)は8事業であり、目的達成のために予定していた活動を一定の範囲で実施できたが、その反面、達成できなかった活動もある。しかしながら、広域事業政策課の業務は、国県の関係機関や関係団体、近隣市町や庁内関係課との協議・調整が多くを占め、特定の活動(特定の指標)の回数等で判断することについては議論の余地が残る。</p> <p>一方、事業の成果に着目すると、成果があった事業(「S」+「A」)が14事業、今後見込める事業(「B」+「C」)が9事業である。広域事業政策課の事業は、直接事業展開し成果を上げるというよりは、国、県、近隣自治体等との協議・調整が多く、成果がすぐには顕在化しないものが多いため、「今後見込める」が多い評価にならざるを得ないが、目に見える成果の実現に向けて、粘り強く進めていく必要がある。</p> <p>なお、「権限移譲事務」については、県の事務処理特例制度を活用し、保健所業務の権限移譲を受け、平成29年4月1日に茅ヶ崎市保健所を開設した。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間で710時間、一人あたりに換算すると月平均9.9時間(平成28年度は、月平均13.6時間)であり全庁平均を下回っている。広域事業政策課の事業には、課内で完結する業務はほぼなく、関係機関・団体との調整に時間を要すが、人的資源の効果的な配分や事務の効率化、実施手法の改善を図ることで、引き続き時間外勤務の縮減に取り組む必要がある。特に、今後中核市移行に向けた検討を進めていくにあたっては、更なる事務改善を図ることが重要となる。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
2	高速道路料金適正化の促進	平成28年4月に首都圏全体の料金が見直され、無料化は現実的ではなくなっているため。
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	スケジュールソフトや朝礼等を活用し、職員相互にスケジュール等の把握を行うことで業務の見える化を図り、職員相互に応援できる体制を構築した。
-	-	国や県と地元や庁内との連絡、調整役を担う上で、業務を円滑に進めるために、当課が間に入る業務と、直接担当課同士で連絡を取り合う業務を仕分けした。